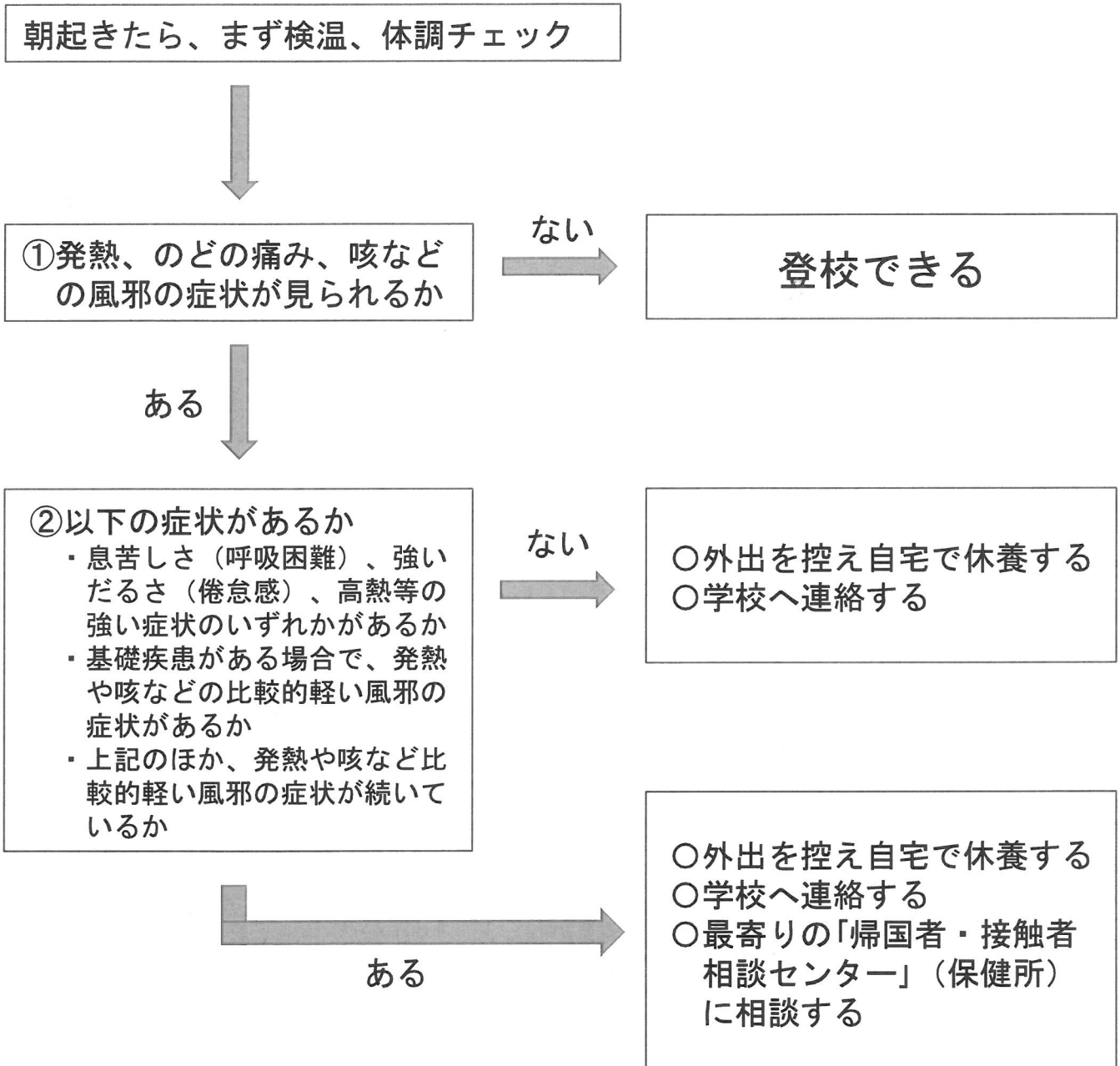


登校前の健康チェックの流れ

令和2年5月20日
保健環境部



同居する家族に上記②のような症状があるなど、感染の疑いがある場合は、外出を控えて自宅で待機するとともに、学校へ連絡してください。

令和 2 年 5 月 22 日
保健環境部（中・高）

新型コロナウイルス感染症対策について

◎ 学校再開時（5/25～）実施する 5 つのこと。

1 健康観察シート（個人）

個人記録表の項目に従い、各自登校前にチェックし記入する。

2 健康チェック記録（学級）

担任（副担任）が健康観察シートを確認し、学級の健康チェック記録に、記入する。必要に応じて、管理職・養護教諭に報告する。

* 中学生は通常健康観察簿に記入する。

3 検温忘れ生徒への対応

各階の中央階段踊り場に、非接触型体温計とアルコール手指消毒液を設置する。検温せずに登校した生徒は、検温後に教室へ入室させる。

4 各クラスにアルコール手指消毒液 1 本を設置する。

5 次亜塩素酸ナトリウム液での消毒を行う。

学校生活における注意事項

令和2年5月20日

保健環境部

◎ みんなの健康・生命そして学校生活を守るために自己管理を徹底する

1 起床から登校まで

① 検温の実施

- ・発熱や咳などの風邪症状があるなど、体調不良の場合は登校を見合わせる。
- ・「健康観察シート」に記入する。

② 安全な登校

- ・心と時間に余裕を持ち、乗り物など人の多い時間をさけて登校する。

2 学校内、下校時

① マスクの着用

- ・鼻と口を覆い、飛沫の飛散と吸引を防ぐ。(咳エチケットの徹底)
- ・人と会話するときにも、マスクを外さない。

② 手洗い(30秒間)の徹底

- ・登校時や教室の移動時など、教室入室前に手洗いをおこなう。
- ・トイレの後 食事の前後 清掃の後など、こまめに手を洗う。

③ 3密(密閉・密集・密接)の回避

- ・肩を組んだり、手をつないだりしない。(ソーシャルディスタンス)
- ・輪になっておしゃべりしたり、大声で話をしたり、はしゃいだりしない。
- ・昼食時は、各自の席で前を向いて、会話を控える。
- ・食堂や売店など並ぶときには、間隔をあける。

④ 定期的な換気

- ・前後入口の上の窓を5cmくらい常時開けておく。
- ・休み時間ごとに換気をおこなう。(2方向のそれぞれ1つ以上の窓を開放)

⑤ ゴミの持ち帰り(教室のゴミ箱は撤去)

- ・衛生面、感染予防の観点から、校内に持ち込んだ 使い捨てマスクやティッシュ、ペットボトル、空き缶、弁当などのゴミは、各自で自宅へ持ち帰り処分する。

⑥ 貸し借りの禁止

- ・友達と物の貸し借りをしない。

⑦ 定期的な水分補給

- ・マスクを着用しているので、意識して補給する。
- ・各自で十分な量の水分を持参する。(自動販売機の完売にも備える)

⑧ 速やかな下校

- ・登校時と同様に、密を避け寄り道をせず、速やかに帰宅する。

3 帰宅後

① 手洗い・洗顔の実施

- ・帰宅後、すぐに手・顔をしっかり洗う。(できればシャワーも浴びる)

② 不要不急な外出の自粛

- ・必要のない外出を避けて、ステイホームを心がける。

③ 健康の増進

- ・食事や睡眠を十分にとり、健康増進につとめ、身体の抵抗力を高める。

健康観察シート

____年____組____番 氏名_____

感染症対策のために、毎日の健康観察が大切です。毎朝体温を測り、体調の確認をしてください。

発熱等の風邪症状がある場合は、自宅で休養し、必ず学校に報告してください。

● 次の表中において、「発熱」及び「体調」の症状に一つでも該当する場合は、登校を見合わせてください。

月 日	5 / 25	5 / 26	5 / 27	5 / 28	5 / 29	6 / 1	6 / 2	6 / 3	6 / 4	6 / 5
曜 日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
起床時の体温 平熱 [] °C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
体 調	のどの痛み									
	せき									
	だるさ									
	息苦しさ									
	その他									

※ 体調の記入の仕方…症状はない（体調はよい）＝○、症状がある（体調がよくない）＝×

● 次の症状がある場合は、「重症化を防ぐ」「人に感染させない」ために、最寄りの「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。

- ① 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ② 重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ③ ①・②以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。

※ 「帰国者・接触者相談センター」の連絡先の確認 … <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>